第2回学校運営協議会報告(豊似小)

来年度の教育課程編成の基本的な方針となる、「重点教育目標」、「育成を目指す資質・能力」、「各教科等における指導の重点」が承認されました。

1 平成31年度の教育重点目標

心豊かでたくましく、主体的に考え、積極的に行動できる子どもを育てる

- 「心豊かでたくましく」
 - → 思いやり、やさしさ、他人のことも考えられる、夢をもつ、 強くなれ、すぐ泣かない、元気で明るい、のびのび 自然の中でたくましく
- ・「主体的に考え」
 - → 自分で考える、広い視野をもちいろいろな考え方ができる 整理する力、想像力・想像力のある、落ち着いて集中する 自信をもつ
- 「積極的に行動できる」
 - → 積極的に行動、何でも一生懸命出来る スキー、スケート、水泳、音楽、踊り、劇、文化水準を上げる

《育成を目指す資質・能力》

- 1 自他共に尊重し、夢や目標の実現に向けて努力できる姿勢
- 2 興味・関心や好奇心を大切にし、つねに学び続ける態度
- 3 自らを高める心をもって、何ごとにも挑戦していく姿勢

2 各教科等における指導の重点

- (1) 各教科等において、次の「知識及び技能」を身に付ける
 - ① 広尾町の産業の見学や体験を通して、身近な職業の知識を身に付ける。

(生活科、社会、理科、総合)

- ② 専門的な知識や技能を持った方々からの講話や指導等を通して、実社会における知識や技能を理解する。 (生活科、社会、理科、総合)
- ③ 広尾や十勝、北海道の芸能やスポーツ等を体験し、その技能を身に付ける。

(生活科、体育、総合)

- (2) 各教科等において、次の「思考力、判断力、表現力等」を身に付ける
 - ① 目的や場面に応じて、相手に分かりやすい発表の内容や仕方を考える力

(国語、生活科、社会、理科、外国語、総合)

② 目的や場面に応じて、発表に必要な情報を収集し、整理してまとめる力

(国語、生活科、社会、理科、外国語、総合)

③ 目的や場面、会場や人数などを考え、相手によりよく伝えることができる力

(国語、生活科、社会、理科、音楽、外国語、総合)

- (3) 各教科等において、次のような「意欲や態度、人間性」を醸成する
 - ① 自分の考えや意見を大切にするとともに、相手の考えや気持ちを考えられる態度 (全教育活動)
 - ② よりよいものや状態を求めて、お互いに協力しながら最後まで取り組む姿勢 (全教育活動)
 - ③ 様々な人の支えなどがあることに感謝し、自らも貢献しようという態度

(全教育活動)

豊似小の教育環境

平成31年度重点教育目標

心豊かでたくましく、主体的に考え、積極的に行動できる子ども

| | 学校 | 家庭•地域 |
|--------|---|---|
| プラス要因 | 子ども一人に出番が多い 交合が新しい を存在体験ができる 教育熱心でできる (教育環境分析に当たって) 重点教育目標を実けました。 学校の要因は主に校家庭・地域にいただきました。 学校の要担はいただきました。 | ① 協力的な保護者・地域の方がいる ② 家の前まで送迎してくれる(便利・安心) ③ 現在の世代の人たちには子どもが多い ④ 協力し合う下地がある ⑤ 地域のまとまりがある ⑥ 引っ越しなどで地域の人が集まる ⑦ 体験事業に快く参加してくれる ⑧ シニアの人たちとの交流が可能 ⑨ 色々な技術をもったシニアの人がいる ⑪ 互いの名前を知っている ⑪ 地域の人たちはほぼ知り合いや知人で、子どもも馴染みやすい ① 大人も子供も地域の人の顔を覚えやすい ⑪ お巡りさんが身近にいる ⑪ お巡りさんが身近にいる ⑪ 豊似小の先生の名前が分かる ⑪ 記念碑などがある |
| マイナス要因 | 先生方の多忙化 グラウンドが遠い(見えない) 農園が無い 本物・一流に触れる機会が少ない 子どもの人間関係が広がらない 放課後の過ごし方が限定されている 多様な意見が出ない 教職員の数が不安定 | 見学・訪問して学ぶところが限られる 冬のスポーツが少ない 冬の天候に左右される(スケートなど) 人口減が止まらない 家の前まで送迎することで体力低下が心配 農家の場合学校から帰ると交流ができない 学校以外で子ども同士の交流がしにくい 広尾中の先生方の名前が分からない 広尾中の生徒の名前が分からない 家でゲームばかりしていないか心配 子どもが遊ぶ姿を地域で見られない |

上記の要因を踏まえて、「地域・家庭の取組」として交流されたアイデアは次のとおりです。引き続き検討を続け、8月の協議会において現実的な取組を決定します。

- 1. 学校農園をつくり、収穫したものをサンタ村で販売できないか
- 2. グラウンドを学校農園にする
- 3. 登校時の見守り
- 4. 放課後の遊びを確保する
- 5. 定期的に子どもたちの全町交流会を行う
- 6. ゲームの時間を減らす工夫



